

## 令和3年第8回大川市教育委員会（定例会）会議録

令和3年6月28日、大川市役所第1委員会室において、令和3年第8回教育委員会（定例会）を開催した。出席者及び会議の経過並びに結果は次のとおりである。

### 1. 開会及び閉会に関する事項

開会 15時00分  
閉会 17時15分

### 2. 出席委員の氏名

教育長 内藤 妙子  
委員 谷川 朋昭  
委員 一ノ瀬直子  
委員 蔵本美保子  
委員 今村 秀一

### 3. 欠席委員

なし

### 4. 事務局等の出席者

学校教育課長	永島 潤一
学校教育課主任教育指導主事	池上 和久
生涯学習課長	井口 秀成
学校教育課長補佐	山口 馨
学校教育課学務係長	大塚 智美
生涯学習課長補佐	岡 美詠子
生涯学習課社会体育係長	米永 英人
記録者・学校教育課総務係	原島 正敏

### 5. 傍聴者

なし

### 6. 付議案件

#### 審議事項

- (1) 議案第20号 大川市立小・中学校設置条例の一部を改正する条例の施行期日を定める規則の制定について
- (2) 議案第21号 令和3年度学校運営協議会委員の委嘱について
- (3) 議案第22号 文化財専門委員の委嘱について
- (4) 議案第23号 教育委員会の点検・評価について

#### 報告事項

- (1) 会計年度任用職員等の任用について
- (2) 大川市町内公民館施設新型コロナウイルス感染拡大防止対策補助金交付要綱の制定について
- (3) 大川市家庭学習等通信環境整備費補助金交付要綱の制定について

## 7. 教育長の挨拶の要旨

### (1) 6月議会について

一般質問においては、学校における防災対策、小学校の洋式トイレの数、コロナ禍の貧困下における生理用品の設置について質問があった。

### (2) 管内教育長会議について

所長から3つ話があり、1つ目が、全国学力学習状況調査、福岡県学力調査が実施されたが、その結果から見える実態を把握し、最大限に活かしてほしいという話があった。

次に、北筑後管内中学校教諭の飲酒運転をうけて、不祥事がなかなかなくなるが、「粘り強く、繰り返し、心に響く」指導をしてほしいということであった。

最後に、教育再生実行会議第2次提言について話があり、国の動きにアンテナを立てておいてほしいと言われていた。

### (3) 教育委員会の取組について

交通事故から子どもを守ろう大川共同宣言が形になった。2つの取組について記載しており、1つ目は子どもが自転車に乗るときは必ずヘルメット着用させましょうということ。この件については、ヘルメットを持っていない児童・生徒へ関家具様よりヘルメットを寄贈いただき、各小学校へ配布済みである。700個ほど寄贈いただいた。2つ目は、横断歩道では車、バイクが必ず停まる町にしよう、子どもたちは停まってくれた運転手に一礼をしようということ掲げている。この宣言は、大川市、大川市教育委員会、大川市PTA連合会、大川市小・中学校長会、大川市区長会、筑後警察署、大川大木交通安全協会といった地域ぐるみで進めていく。

## 8. 議事の概要

審議事項	(1) 議案第20号 大川市立小・中学校設置条例の一部を改正する条例の施行期日を定める規則の制定について
質問・意見等なし	
《採決》 全員挙手により原案のとおり承認	
審議事項	(2) 議案第21号 令和3年度学校運営協議会委員の委嘱について
質問・意見等なし	
《採決》 全員挙手により原案のとおり承認	
審議事項	(3) 議案第22号 文化財専門委員の委嘱について
質問・意見等なし	
《採決》 全員挙手により原案のとおり承認	
審議事項	(4) 議案第23号 教育委員会の点検・評価について

委員	フッ化物洗口のみが保健指導の充実の実績に記載されているが、大川市は保健指導の充実として取り組む事業はこれだけということか。
事務局	市の特色ある、主な取組として、点検・評価においてはフッ化物洗口をあげているが、もちろん他にも様々な取組を行っている。
委員	小中高大連携の取組は、具体的目標1の確かな学力とは連動しないのか。
事務局	小中間の教師間交流については、中1ギャップの解消に役立つと思う。また、それ以外でも授業改善などの様々な面において学力の向上に繋がっていくと考えている。
委員	小学校から中学校に上がる際に、学力の大幅な減少が見られるが、そのことについては、どういったことが原因として考えられるのか。また、どういった対応を行っているのか。
教育長	授業構成をひとつの要因として考えている。授業の形態が小学校と中学校で違うところがある。小中間の教師間交流は、小学校のきめ細やかな指導を中学校に、中学校の専門性を活かした授業を小学校に、それぞれのいいところを学んでもらう場になると思う。自ら学ぶ力を養うような授業をしていく必要がある。
委員	木育について、中学校に関しては力があまり入っていないように感じるがどうか。
事務局	記載されている以外でも、木工業の歴史や伝統などについて学んでいる。
教育長	中学校は、体験型の活動をできないかと計画しているところである。
委員	木育といたら、木や木製品と考えがちだが、木は川や海と繋がっているので、SDGsと関連させるなどして、もっと広い視野で考えてほしい。
委員	自己有用感の低さについて、コロナ禍での学校行事等の中止をあげられていたが、全国的にコロナ禍でイベント等が中止になる中で、全国平均と比較し、大川市だけが低いのであれば、原因は他にあるのではないか。
教育長	大川桐英中学校の卒業式で、様々なイベントが中止になる中で、生徒が自ら考えて達成感を感じる活動ができたという話があった。調査時点では低かったかもしれないが、今調査をしたらもう少し高い数値が出るかもしれない。
委員	英語外部検定試験の結果を見ると、年齢が上に上がるにつれて聞く・話すの結果が下がっているが、原因は何が考えられるか。
事務局	やはり、聞く機会、話す機会が少なく、慣れていないことが原因ではないかと思うので、そういった機会を増やし、英語に慣れさせる必要があるかと思う。また、都市部の子どもたちはそういった機会が多いので、都市部にいくにしたがっ

	<p>て平均値が高くなっている。スピーチコンテストなどを起爆剤として、意欲を高めていければと思う。</p>
事務局	<p>聞く・話すという部分が、小学校から中学校への接続がうまくできていないように感じる。小学校では英語に慣れる、親しむということを中心にして行っており、中学校に入ると急に難しくなることでギャップを感じるのではないだろうか。小学校でも、中学校を見据えた指導が必要ではないかを感じる。</p>
委員	<p>木育について、中学生の3年間で学年やグループなどで大作を作ってはどうか。そういった技術を持った職人が大川にはたくさんいると思うので、そういった方々に技術指導をお願いして、何か活動ができないかと思う。そういった体験を通して、ふるさとに誇りを持ったり、地元に残って仕事をする人が出てくるのではないだろうか。</p>
委員	<p>市民大学講座・市民学習講座については、推進状況をBとしてあるが、令和2年度は市民大学講座がすべて中止になっている中で、この評価は適当か。今回はコロナ禍ということもあるので、評価できないところは無理に評価をしなくてもよいのではないか。</p>
事務局	<p>おっしゃるとおりである。再度検討する。</p>
委員	<p>学校教育環境整備の推進、ふれあいの家の社会教育環境整備の推進は、すべて予定通り行われているようなので、Aでもよいのではないか。</p>
事務局	<p>学校教育環境整備の推進については、少し進捗が遅れた部分はあるが、概ね予定通りなので、ご指摘のとおりAに変更する。</p>
事務局	<p>ふれあいの家については、当初の計画通りにいっていない部分もあるので、Bとしていることから、変更なしでお願いします。</p>
<p>《採決》 全員挙手により原案のとおり承認</p>	
報告事項	<p>(1) 会計年度任用職員等の任用について</p>
<p>質問・意見等なし</p>	
報告事項	<p>(2) 大川市町内公民館施設新型コロナウイルス感染拡大防止対策補助金交付要綱の制定について</p>
<p>質問・意見等なし</p>	
報告事項	<p>(3) 大川市家庭学習等通信環境整備費補助金交付要綱の制定について</p>
<p>質問・意見等なし</p>	